

大型クラゲ情報

県内全域で出現、深浦町で600個入網

(1) 県内の出現状況(水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、9月9日現在)

- ・県内全域に大型クラゲが出現しています。サイズは50cm～100cmと幅があります。定置網にはすでに500個を超える入網が見られています。
- ・9月3日、深浦町椿山沖の大型定置網に入網した個体を現地で確保し、独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所に照会したところ、翌4日、エチゼンクラゲであることが確認されました。
- ・日本海側では深浦町の大型定置網に5日には300個、9月6日以降は、最高600個の入網が確認されました。津軽海峡では9月2日に関根浜で数個確認され、その後、太平洋でも尻労から八戸市南浜まで広く確認されています。
- ・なお、これまでの情報を総合して、8月29,30,31日に八戸市南浜、六ヶ所村泊、佐井村牛滝で数個ずつ確認されていた個体も、エチゼンクラゲと推定しています。

(2) 全国の出現状況及び出現予測(漁業情報サービスセンター(JAFIC)調べ、9月9日現在)

- ・西日本では依然まとまった出現が続いており、若狭湾周辺で定置網に1000個を超える入網がありました。秋田県、山形県でも出現が見られていますが、まとまった個数とはなっていません。
- ・(独)水産総合研究センターによると、沖合域に分布している大型クラゲが、今後沿岸域に移動することが予想されています。本県沿岸も、気象の影響等で出現数が急増する可能性がありますので十分な注意が必要です。

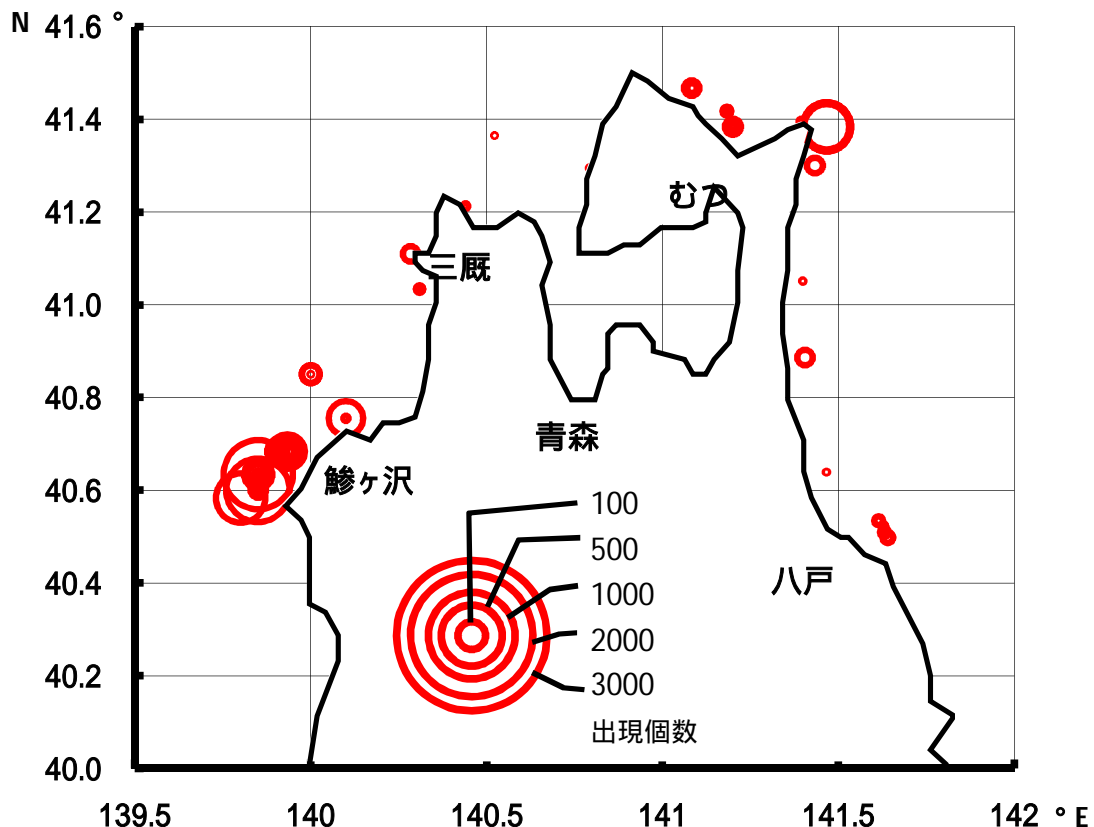


図: 8/29～9/9 青森県周辺海域の大型クラゲ出現情報(位置はおおよその地点)